【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成30年12月13日(2018.12.13)

【公開番号】特開2017-169900(P2017-169900A)
【公開日】平成29年9月28日(2017.9.28)
【年通号数】公開・登録公報2017-037
【出願番号】特願2016-60253(P2016-60253)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３１２Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成30年10月11日(2018.10.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
始動入賞領域への遊技球の入賞に基づき、複数の識別情報を変動表示する変動表示ゲームを表示可能な変動表示装置と、閉状態と開状態とに変換可能な変動入賞装置と、前記変動表示ゲームの実行制御と前記変動入賞装置の変換制御とを実行可能な遊技制御手段と、を備え、前記変動表示ゲームの結果が予め定めた結果となった場合に、前記変動入賞装置を開状態へ変換する遊技機において、
前記遊技制御装置は、
前記変動表示ゲームの結果が特別結果になったことに基づき前記変動入賞装置を複数回繰り返し開状態へ変換する特別遊技を行い、
前記変動表示ゲームの結果が特定結果になったことに基づき前記変動入賞装置を前記特別遊技における１回の開状態よりも短期間になるように開状態へ変換することが可能な特定遊技を行い、
前記特別遊技における前記変動入賞装置の開状態へ変換する回数を、複数種類に設定し、
前記特定遊技における前記変動入賞装置の開状態へ変換する回数を、前記特別遊技における前記変動入賞装置が開状態へ変換する複数種類の回数のうち最も少ない回数よりも多い回数に設定することを特徴とする遊技機。
【請求項２】
前記特定遊技において開状態へ変換する前記変動入賞装置は、遊技球の入賞が可能な入賞口を閉状態にする開閉部材を備え、該開閉部材上に遊技球が滞留可能であることを特徴とする請求項１に記載の遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
そして、このような遊技機として、特別遊技状態において変動入賞装置への入賞によって遊技価値を得られるような遊技機が提供されている（例えば、特許文献１参照）。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
しかしながら、上記の遊技機では、遊技の興趣が高められていない。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明の代表的な一形態では、始動入賞領域への遊技球の入賞に基づき、複数の識別情報を変動表示する変動表示ゲームを表示可能な変動表示装置と、閉状態と開状態とに変換可能な変動入賞装置と、前記変動表示ゲームの実行制御と前記変動入賞装置の変換制御とを実行可能な遊技制御手段と、を備え、前記変動表示ゲームの結果が予め定めた結果となった場合に、前記変動入賞装置を開状態へ変換する遊技機において、前記遊技制御装置は、前記変動表示ゲームの結果が特別結果になったことに基づき前記変動入賞装置を複数回繰り返し開状態へ変換する特別遊技を行い、前記変動表示ゲームの結果が特定結果になったことに基づき前記変動入賞装置を前記特別遊技における１回の開状態よりも短期間になるように開状態へ変換することが可能な特定遊技を行い、前記特別遊技における前記変動入賞装置の開状態へ変換する回数を複数種類に設定し、前記特定遊技における前記変動入賞装置の開状態へ変換する回数を、前記特別遊技における前記変動入賞装置が開状態へ変換する複数種類の回数のうち最も少ない回数よりも多い回数に設定することを特徴とする。